

第100回 丹沢大山ハイキング

第5支部 東邦化成(株)
幹事 磯部 進

2021年10月31日 曇りのち雨

ハイキング同好会は第100回のハイキングを令和3年5月30日に企画し、東塗商だより3月号に案内を掲載しました。ところが、コロナ禍による緊急事態宣言中となってしまうため、東塗商だより7月号に9月26日開催と再案内しました。しかし、宣言が10月迄延長されたため、再度延期しました。9月30日に緊急事態宣言の解除方針が見えて来たので、10月31日に予定し直し、三度目の正直で本日を迎えました。

ハイキング同好会の第1回ハイキングは希しくも22年前の1999年10月31日に実施しました。午前9時12分に、小田急伊勢原駅に到着、集合時間は9時35分ですが、既に小川ご夫妻が到着されていました。到着していた6人(小川夫妻、石井幹事、原夫人、弊社高橋、磯部)でバス停を確認し、弊社高橋に改札で待つように指示をし、バス待ちの列に並びました。ところが臨時の直行便を9時15分に出すとのこと、この列にいる4人に乗っていただくことにしました。バスが出た後で、更に9時25分にも出るとのことで、山本さん大井さんも到着し、後は乾さん1人となったので、メールを打ち、4人で先に行くことにしました。

バスは順調に走り、大山ケーブル停留所に9時50分に到着。途中、乾さんには電話も入れましたが出ないので、どうせ追い付いて来ると思い、先を急ぐことにしました。案の定、増発した直ぐ後のバスで到着、ケーブル駅に行く途中で追い付かれました。これで登山組9人全員が揃いました。先発組には阿夫利神社下社で待ってもらおうよう連絡していたので、下社に参拝後、10時26分、写真を撮りハイキングを開始しました。

あいにくの曇り空でしたが、下社前からは江の島を見ることができました。今回のコースは第50回の時に半数が採用した女坂ルートを全員で登ることにしました。男坂は最初に長い石段が続くので、モチベーションが最後まで続かないのです。11時24分、男坂との合流地点、18丁目に到着しました(頂上は28丁目)。半分以上来ていると思いきや、三分の一位なのです。小川さんがしんどいとのことで、その場に残して出発しました。途

中で、小川さんより夫人の介護のもと、下山するとの連絡があり、7人で頂上を目指しました。頂上直前で小雨が降り出し、雨具を装着しました。12時15分、先行した乾さんと合流し大休止。石井さん持参の黒ビールと普通のビールをいただきながら、木陰で雨を除け、お湯を沸かし、紅茶を入れました。更にブランデーやバーボンをお好みで足して暖を取りながら軽い昼食を済ませ、12時52分、一路下山しました。14時8分、下社前まで無事に下山しました。

下社前で非登山組の4人(内田さん、若林夫妻、礒川事務局長)と合流する予定でしたが、予定の14時30分よりは早く到着したため、非登山組は誰も到着していませんでした。雨具は着用していますが、濡れたくは無いので、雨を凌げる場所を探しながら下りましたが、ケーブル駅との合流点迄来てしまいました。ここで小川夫妻と合流できました。

そうこうしているうちに、若林夫妻と礒川さんが到着したので、三人には下社に参拝すべく、石段を登って貰いました。その間に内田さんから、ケーブル駅までの参道で、ばてたとのことで、直接、打上会場である「小川屋」に入ったとの連絡がありました。そのような状況だったので、私が参拝している3人を待ち、他の登山組8人にはケーブルで下って貰うことにしました。

参拝を終えた三人が戻られたので、14時40分のケーブルカーで下り、「小川屋」に到着しました。原夫人はご主人の面倒を看られるとのことで、ここでお別れしました。お店の方とお料理の内容をお豆腐の7品目に決め、会場に到着した時には、皆さんビールを開けていました。

打上げは100回記念と言うことで、同好会の生みの親である内田さんに、乾杯の音頭を取っていただき、15時15分、宴会を開始し、美味しいお豆腐料理をいただきました。17時30分、記念写真を撮り、急ぎバス停に向かいましたが、参道の灯りはミニマムで、暗い中、階段に注意しながら歩き、無事に17時40何分かかのバスに乗り込みました。

伊勢原駅に眠りながら到着、直後の急行に乗り、相模大野、町田、登戸とメンバーと別れながら、全員無事に帰着しました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

私議 今100回を以って幹事を退任し、大井さんに引き継ぎます。次回の忘年山行は12月19日と決まり、ここまでは企画致します。長年に渡り、お付き合いいただき、誠にありがとうございました。